

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会

第4回認知症対策部会 会議録

開催日時	平成31年3月15日（金） 午後2時30分～午後4時
開催場所	生駒メディカルセンター研修室
出席者 （委員）	山上部会長、中溝副部会長、川田委員、徐委員、茨木委員、堀井委員、湯川委員、吉村委員
出席者 （代理出席）	奈良県郡山保健所 健康増進課長 今西浩美氏
事務局	影林福祉健康部長、田中福祉健康部次長、後藤地域包括ケア推進課課長補佐、田村地域包括ケア推進課係員、岡崎地域包括ケア推進課係員
傍聴	2人
案件	(1) 認知症初期対応事例集（案）について (2) 認知症初期集中支援チーム等の実績報告について (3) 認知症カフェ視察報告について (4) 平成30年度認知症対策部会活動報告書（案）について (5) 次年度の計画（案）について (6) 認知症に関する研修企画（案）について
資料	平成30年度 第4回認知症対策部会 会議次第 資料1 認知症初期対応事例集（案） 資料2 認知症初期集中支援チーム 評価基準（案） 資料3 認知症カフェ視察報告 資料4 平成30年度認知症対策部会活動報告書（案） 資料5 平成31年度認知症対策部会スケジュール（案） 資料6 認知症に関する研修企画（案）
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
事務局	1 開会 2 案件 案件(1) 認知症初期対応事例集（案）について （資料1に基づき説明）
部会長	最終修正のご意見等はないですか。特にご意見がなければ、これで完成とさせていただきます。今後製本にあたり一部修正のある場合は、部会長と事務局に

	一任の形をとらせて頂きます。 製本後、事例集の配布先としてはどのあたりの範囲までを想定していますか。
事務局	委員の皆さんのご意見をいただきたいです。
委員	認知症に関わる職種は多岐に渡るため、広く皆さんに見ていただきたい思いはあります。ケアマネとかヘルパー、訪問看護、みんなの目に届くようにしたいです。
部会長	ヘルパーを派遣する事業所合わせて市内にどれぐらいあるんでしょうか。100カ所もないですかね。
事務局	そこではないと思います。今回は認知症の初期という部分にこだわって、見過ごされやすいところをまとめていただいたので、なるべく多くの人の見ていただきたいですね。
部会長	介護の事業所はすべて配布はできそうですね。
事務局	医療機関どうでしょうか。
部会長	病院も診療所も認知症の方に関わる機会が多いので、あった方がいいですね。
事務局	医療介護連携ネットワーク協議会に参加いただいている病院には配布できればと思います。薬局はどうですか。
委員	あった方がいいです。各店舗1冊ずつあれば。
委員	医療介護連携ネットワーク協議会には診療所からは参加されていないと思うのですが。
部会長	医師会から代表して参加しているので、診療所にも配布しましょう。
事務局	予算は計上できているので。
部会長	それでは市内の医療・介護関係者に広く配布していきましょう。 医療介護情報ナビを私はあまり知らないのですが…。
事務局	管理は地域医療課で、総合事業に関しては地域包括ケア推進課で行っています。啓発は行っており便利とは思いますが、登録の手続きが面倒とも聞きます。引き続き啓発を行っていきます。
部会長	それでは、事例集の方は多くの方に見ていただけるようにしていくということで、お願いいたします。
事務局	案件(2) 認知症初期集中支援チーム等の実績報告について 評価基準(案)の支援期間と適切な支援を追加しております。支援機期間は生駒市初期集中支援チームの手引きの、支援期間を最長6か月とするということ

部会長 事務局	ろを根拠としています。適切な支援については、資料 2 に添付して配布もしていますが、適切な支援につながらなかったケースを今後の支援に生かすために検証しているかどうかというところで、当課で支援チームが動かなくても包括や医師の初動で適切な支援につながったものを、今回事例として挙げています。 評価基準を用いてどのように評価するのでしょうか。点数化ですか。 実施しているかしていないか、イエスかノーでの評価で考えています。初期集中支援事業という枠組みがあり、その枠組みの中で適切に活動ができているかを評価いただくのがこの認知症対策部会の場合。一度この評価基準をもって、支援チームが適切に稼働しているのか評価いただければ。
部会長 事務局	評価基準に関して、何かご意見などあれば。 内容は 2 点追加していただいたんですね。 第 3 回の中で、適切な支援は何を持って適切とするのか、評価期間がもうけられていないのであればエンドレスになるのかというご意見から、この 2 点を評価基準に追加した。 奈良県内の認知症地域支援推進員の配置状況を参考にしたり、奈良県にも意見をいただきながら案を作成した。
委員 事務局	モニタリングとは具体的にどうするのか。 認知症初期集中支援チームで介入した後に支援方針を定めるが、その支援方針が月 1 必ず訪問して支援方針を確認するとか課題に基づいて介入をするので、それがきっちりとなされているかどうかを確認し、記録に残して、モニタリングができているかを確認します。
委員 事務局	モニタリングシートを実際に見て、評価するということですかね。 支援経過記録や目標を提示して、経過日時も含めた記録とあわせて、ケースをもう少し咀嚼したものをご提示できれば良いですね。ありのままの資料を添付して、イメージが湧きやすいようにこちらで説明するようにした方が良いでしょう。
部会長 事務局	県内の実数はどれぐらいですか。 人口規模も大きいですが、奈良市が一番多い。支援チームが動くまでもなく認知症支援推進員等が適切に対処できているところは、支援チームの件数も少なくなっています。
委員 事務局	支援チームは生駒市は何箇所あるのですか。 生駒市は直営が 1 箇所です。
部会長	ではこのような形で一度検討いただいて、必要であれば変更していただければ。支援チームが動かずとも対処できているとのことで、事例の紹介をお願い

事務局	します。 事例紹介
部会長	包括や市の担当者が粘り強くやってくれている結果だと思います。
事務局	94 歳という年齢で、現場の介護職からみれば認知症だという思い込みが強かったケースです。
委員	対応できる精神科の病院もあまりなく、受け入れるキャパシティも小さいですよね。
部会長	報告いただいたケースで質問などはないか。支援チームが動かなくてもうまく行けるケースがあるのではないかという報告でした。先ほどの評価基準をもとに、次年度から評価していければと思います。
部会長	(3) 認知症カフェ視察報告について では、実際に視察に行かれた委員さんから報告をお願いします。
委員	カフェわっか 認知症の夫婦も元気な人も自由に集っていて、みんながフレンドリーでアットホームで、また来たいと思えるような雰囲気でした。坂の上の会場なので通いが難しい方もおられるが、歩いて行ける距離にこういうカフェが増えればいいなと思う。
委員	心カフェ 参加者が大勢でにぎわっていた印象。夫婦での参加や介護認定をお持ちの方もおられた。季節に合わせてレクをしたり、歌ったり、体操をしたり和気あいあいとしていた。話もでき遊びもあり楽しめるサロンだった。立地的にも行きやすい場所といい雰囲気だった。
委員	バンビカフェ ボランティアが主体となって運営しており、地域の方や認知症の方に 1 人ずつ声かけたりしながら拾い上げている感じ。ゲームをやったり、話題にあがった内容に関連する本を次回のカフェの時に図書館から本を借りてきて並べており、話を広げるきっかけにしています。
委員	ちょぼらカフェ 当事者だけでなく地域住民の参加が多く驚いた。認知症の方というものは感じず一体感が良かった。他に体操教室もやっている場なので、地域住民にとって行きやすい場所になっているのも良い点だと思う。認知症カフェのイメージが大きく覆るきっかけとなった。
部会長	今までの認知症カフェのイメージは当事者と家族が参加するイメージが強かった。
事務局	当事者と家族が地域で快適に過ごすには普通に過ごせる空間が地域に必要であり、地域住民が認知症を知る場になればと思っている。

部会長	昨年度はグループホームを視察させていただいたが、今回の認知症カフェのようにまた機会があれば現場を見せていただくのはすごく役に立つ。
事務局	(4) 平成 30 年度認知症対策部会活動報告書（案）について （資料 4 に基づき説明） 来年度のネットワーク協議会で報告します。また県内で入院可能な精神科病院は今年度中にケアパスに掲載予定。 一部報告書に不備がありました。5 ページの(3)を(4)に変更します。
部会長	質問や意見はありませんか。
委員	ケアパスの専門機関の掲載については、改訂版が出るということですか。
事務局	今の段階では印刷物をケアパスに挟む予定にしている。今後増版する時に内容に盛り込む予定。
部会長	市内の病院だけでなく県内の医療機関を記載しているのですね。
事務局	市内でなく遠いところに受診したい人もおられるということで、県内の医療機関を掲載している。 今年度の取り組みとして、初期集中支援チームの評価基準を設けたことは活動報告書に追記しておきます。
部会長	来年度のネットワーク協議会の開催時期はいつぐらいになりそうですか。
事務局	委員の構成の再検討もあるので現在は未定です。
事務局	(5) 次年度の計画（案）について （資料 5 に基づき説明） 部会の第 3 回目は会議ではなく、研修会の日とする予定です。
部会長	石黒先生はまた来ていただけるのですか。
事務局	4 月に民生児童委員の研修に来られることになっている。寿大学でも直近 2 年で 2 回講演いただいており、住民の中でも就活や認知症への興味がわいてきている。啓発も合わせてできればと思い、フォーラムも石黒先生にお願いしている。
部会長	職員向け研修は力を入れないといけないですね。
事務局	今年の積み残しになっています。
部会長	多職種研修も毎週はしんどいので、来年度は日程を調整していただけるとありがたいです。
事務局	在宅医療推進部会とも相談して、日程を分散するように調整します。

事務局	その他 認知症対策部会の次期委員構成について、委員の皆様からご意見をいただければと思います。
部会長	来年度から業種を増やしてはどうかという声がありましたが、何名ぐらい増員を予定していますか。
事務局	3名ぐらいを予定しています。
部会長	このような職種の方に参加していただきたい等ありますか。
委員	MSW はどうですか。実際に認知症の方の退院支援をしていく方はおられたらいいかと思います。
委員	グループホームの職員はどうですか。
部会長	会議の中で一番名前が出てくる包括職員が今はいないですね。
委員	包括支援センターには認知症地域支援推進員もいますしね。
事務局	ネットワーク協議会との調整も必要なので、一旦事務局で預かり、調整させていただきます。
事務局	部会には直接関係はないですが、認知症の当事者ミーティングについて報告させていただきます。 (事務局から報告) このような取り組みが少しずつ広がって、家族同士のつながりができたり本人たちの声を拾えるようになればいいなということで、今年度試行的に実施した。今回やったことで課題もたくさん見えたが、また皆さんの知恵もいただけたらと思います。 3 閉会

--	--